

小学校 第5学年 社会 環境を守るわたしたち (東京書籍 新編 新しい社会5)

○単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解することができる。 地図帳や各種の資料で調べ、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする。 よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする。 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度やよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を高める。

○探究の過程

①課題の設定	川の様子や四季の美しい風景の動画と1960年代の川の様子を比べ、大きく変化した理由や人の働きについて考える。
②情報の収集	川をきれいにするための働きについて、様々な視点・立場からの取組を調べる。自分の住む町の取組について調べる。
③整理・分析	自分が調べてきた情報について、友達に伝わるような形に整理する。
④まとめ・表現	川をきれいにするための働きについて、自分が協力できることを考え、発表する。

○単元計画(5時間扱い)

時	目標	学習活動	探究の過程
1	川の変化について話し合い、学習課題を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 川と京都市民との関わりを調べ、現在と過去の川の様子を比べて、疑問を出し合い、学習課題を立てる。 	① 
2	なぜ川は汚れていたのかを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を立て、当時の新聞記事や市役所の方話、四大公害病などから、当時の社会の様子を調べ、汚れの原因について話し合う。 	
3	京都市では、川をきれいにするために、どのような取組が行われたかを調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 年表や地域の方々の話などから、環境をよくするための取組について調べ、話し合う。 	② 
4	きれいになった川を守るために、どのような取組が行われているのかを調べ、まとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 条例や地域の方の話などから、現在の取組を調べ、環境を維持する様子について話し合う。 学習したことを振り返って、川の環境を守る取組をそれぞれの立場でまとめる。 	③ 
5	川の環境を守るための取組についてまとめ、話し合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分はどの活動に協力できるか考え、参加の仕方について話し合い、これまでの学習を振り返る。 	④ 

第5学年 社会科学習指導案(第1時)
【①課題の設定 単元を貫く課題を設定させたい】

1 単元名「環境を守るわたしたち」(東京書籍 新編 新しい社会5)

2 本時の計画

目標	川の変化について話し合い、学習課題を立てることができる。
探究の過程 課題の設定	川の様子や四季の美しい風景の動画と1960年代の川の様子を比べ、大きく変化した理由や人の働きについて考える。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 10分	1 川が市民に親しまれていることをつかむ。 ○川の動画を見ながら、川が人々にとってどんな川なのか考えましょう。 ◆きれいな川でたくさんの人が集まっている。	一斉	◎川の様子や四季の美しさを感じることができるような動画を見る。 ◎現在の川との比較を促す。 課題の設定 
	2 1960年代の川の様子との比較を行う。 ○先ほど確認した川の昔の様子を見てみましょう。 ◆川が本当に汚い。	一斉	
京都の人々は川をどのようにきれいにし、どのように守っているかを調べてまとめよう。			
展開 25分	3 2つの動画を比較して疑問に感じたことを発表する。 ○2つの動画を見て、疑問に感じたことは何ですか。 ◆そもそも誰が汚したのか。 ◆どうやってきれいにしたのか。	グループ	◎汚れた理由や1970年以降に改善されていることに着目させる。
	4 疑問を生かして、調べることを整理する。 ○川をきれいにするためにどんなことを調べたらよいかを考えましょう。 ◆汚れの原因を知りたい。 ◆きれいにしてくれた人は誰だろう。	グループ	◎川のBOD値(水の汚れを微生物が分解するときを使う酸素の量)の変化のグラフから、1970年に起こったことを考えさせる。
終結 10分	5 学習課題に対する自分の予想を考え、発表する。 ○川は「だれが」「どのようにして」きれいにしていたのでしょうか。 ◆市でゴミを捨ててはいけないという決まりをつくる。 ◆町が決まりを作り、違反したら罰する。 ◆小学生が休みの日にゴミ拾いをする。	一斉	◎自分の住む町の河川にも置き換え、川をきれいにする取組や、町のお知らせや看板などを想起させて考えさせる。 ◎川をきれいにするために、「誰が」「どのようにして」きれいにするか考えさせる。

第5学年 社会科学習指導案(第3時)

【②情報の収集 課題解決に必要な情報を集めさせたい】

1 単元名「環境を守るわたしたち」(東京書籍 新編 新しい社会5)

2 本時の計画

目標	京都市では、川をきれいにするために、どのような取組が行われたかを調べることができる。
探究の過程 情報の収集	川をきれいにするための働きについて、様々な視点・立場からの取組を調べる。自分の住む町の取組について調べる。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 前回の学習を振り返り、川をきれいにする取組を調べたことを想起させる。</p> <p>○どんな人が川をきれいにしていましたか。</p> <p>◆市役所の人。</p> <p>◆ボランティアの人。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	一斉 一斉	◎川をきれいにする人々が多数存在するのではないという考えを持たせるようにする。
<p>京都の人々は川をきれいにするために、どのような取組をしているかを考えよう。</p>			
	<p>○どんな取組をしていると思いますか。</p> <p>◆ごみ拾い。</p> <p>◆草刈り。</p>		◎「きれいにする」活動に着目させ、きれいな状態を保つのは次時であることを意識して指導をする。 情報の収集 
展開 30分	<p>3 市役所の人や、友禅染の職人の話から、調べ方について考える。</p> <p>○誰が、どのような働きをしているか確認しましょう。</p> <p>◆市役所では川をきれいにする取組をしている。</p> <p>◆川を使う人は、きれいになりたいと思うはず。</p> <p>4 川をきれいにする活動に取り組んでいる人やその内容について調べる。</p> <p>○川をきれいにする活動に取り組んでいる人や取組を探しましょう。</p> <p>◆市役所は環境保全課という課で川をきれいにしていてる。</p> <p>◆県や国でも同じ働きをしている人がいる。</p>	グループ グループ	◎京都市、京都府、京都の職人と川のつながりから調べさせる。 ◎調べる中で、川沿いで働く人や、小学生なども活動していることなど、想起させるようにする。 ◎インターネットを使い、その後インタビュー動画なども見るようにする。
終結 10分	<p>5 調べて分かった内容を全体で共有する。</p> <p>○分かったことを確認しましょう。</p> <p>◆川について考える日がある。</p> <p>◆直接きれいにするだけでなく、建てる建物などにも決まりがある。</p>	一斉	◎Jamboardを使い、「誰が」「どのような」取組をしていたのか書き込むことで、他の人が調べた内容を共有できるようにする。

第5学年 社会科学習指導案(第4時)
【③整理・分析 情報を整理させタイ】

1 単元名「環境を守るわたしたち」(東京書籍 新編 新しい社会5)

2 本時の計画

目標	きれいになった川を守るために、どのような取組が行われているのかを調べ、まとめることができる。
探究の過程 整理・分析	自分が調べてきた情報について、友達に伝わるような形に整理する。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 Jamboard でまとめた情報を共有する。 ○友達の調べた情報からどのような人々が活動しているか確認しましょう。 ◆市役所ではたくさんの取組があった。 ◆川を利用する人はきれいにしようとする工夫があった。 ◆自分は見付けられないから、友達の調べたことを参考にする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	一斉 一斉	<p>◎「市役所」「職人」「川をきれいにする団体」の3つに分けていく方向を示す。 ◎3つ以上出てきている場合は、「市役所」「職人」「川をきれいにする団体」のどれに当たるか考え、整理させる。 ◎この後は「きれいにする活動」ではなくきれいな状態を維持する活動を指導することを意識する。</p> <p style="text-align: right;">整理・分析 </p>
川をきれいにする取組をしていた人を調べよう。			
展開 30分	<p>3 県や自治体の動きを知る。 ○川の汚れの数値をよくしている人の働きについてまとめましょう。 ◆1980年くらいから、川の数値は変わっていないから、川は40年以上きれいなまま。 ◆条例や政策から、環境問題というものが身近にある。</p> <p>4 分かったことについて話し合う。 ○県や自治体の動きと、自分が調べてきたことをまとめ、伝え合ひましょう。 ◆調べてきたことだけでなく、身近なところでも環境のために働く人がいた。</p>	一斉 グループ	<p>◎BODの値の変化のグラフを示し、川をきれいにするだけでなく、きれいな状態を守り続けようという人がいることに気付かせる。 ◎長年、川の美化にかかわった人の思いを聞かせ、環境に対する意識を高めさせる。</p> <p>◎「環境問題」が身近であること、そして、自分たちでもできることがあることに気付くように指導する。</p>
終結 10分	<p>5 「環境問題」について、身近な問題であり、自分自身が協力していかなければならないことを確認する。 ○自分たちが調べてきたことだけでなく、たくさんの人々の環境への働きを学習しました。単元のまとめでは、これらをまとめて発表をしましょう。</p>	一斉	<p>◎単元のまとめで、これまでの学習を振り返り、自分がどの立場に立って、きれいな川にするための発表を行うか、考えておくよう確認する。</p>

第5学年 社会科学習指導案(第5時)
 【④まとめ・表現 発表の仕方を考えさせたい】

1 単元名「環境を守るわたしたち」(東京書籍 新編 新しい社会5)

2 本時の計画

目標	川の環境を守るための取組についてまとめ、話し合うことができる。
探究の過程	川をきれいにするための働きについて、自分が協力できることを考え、発表する。
まとめ・表現	

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 5分	1 これまで学習の内容を振り返る。 ○これまで学習した川の環境を守る働きを発表しましょう。 ◆府や市はルールを作ることで川が更に汚れないようにしていた。 ◆小学生のうちから川について学習することで、川を汚さないような人になると思う。	一斉	◎「市役所職員」「職人」「川をきれいにする人」の3つの立場で発表させる。 ◎3つがそれぞれどのような役割を果たしているか着目させる。
	2 本時のめあてを確認する。	一斉	
川の環境を守るための取組についてまとめ、話し合おう。			
○今日は、川の環境を守るための取組についてまとめ、話し合いを行います。			
展開 30分	3 どのような活動に協力できるか考える。 ○あなたは誰の、どのような活動に協力できるか考えましょう。 ◆ごみ拾いは参加できそうだから、「美しくする会」の定期的なごみ拾いは参加できる。 ◆決まりだけではつまらないから、川で楽しむ企画に参加したい。	個別	◎なかなか決められない児童は、生活経験の中から自分の家でできることを想起させ、自分ができるという視点で考えさせてもよい。 ◎市や府の取組に協力する方法が見付からない場合は、自分のごみの捨て方を守ることで参加できているということに気付かせるように指導する。
	4 自分は誰の、どのような活動に協力できるか話し合い、発表の仕方を考える。 ○あなたは誰の、どのような活動に協力できるか話し合しましょう。また、どう発表するかも決めましょう。 ◆ごみ拾いの活動は、実際にその活動をしている様子の動画を入れて発表したい。	グループ	
			◎話し合いを通じて、川をきれいにするため、様々な人々が、いろいろな努力をしているということに気付くようにする。そのため、板書等でそれが分かるよう指導を進める。 ◎発表の仕方を考えさせる。 <div style="text-align: right;"> まとめ・表現  </div>
終結 10分	5 話し合いをした上で考えたことを確認し、発表する。 ○みなさんは、どの立場でできることを伝えましたか。 ◆京都市の立場で考え、決まりを設けた。決まりを守らないと意味がないと考えた。	一斉	◎どんな立場でどんなことができるかを考えさせる。 ◎友達に発表する際には、図やスライドなどを使用させる。